

「帯広市民オペラの会」とは・・・

「帯広市民オペラの会」は、平成9年に文化団体関係者、行政、経済界、関係団体が実行委員会を組織して第1回帯広市民オペラ「カルメン」公演終了後、これを継続する組織として発足しました。4年に一度、7者の主催による「市民オペラ公演」の開催を目指し、毎週練習を重ね、年に一度コンサートを開催しています。



帯広交響楽団とは・・・

「帯広交響楽団」は、一貫してプロの指揮者の指導・指揮をいただきながら、演奏技術を向上させ、道内屈指の市民オーケストラとして今年34年目を迎えます。令和元年、「帯広市民オペラ公演」や「帯広市民バレエ公演」などの他に類を見ない取り組みが高く評価され、「帯広交響楽団」が「北海道地域文化選奨」を受賞しました。



市民バレエ『ティアラの会』とは・・・

「市民バレエ『ティアラの会』」は、平成14年に帯広・十勝の12のバレエ教室が「第1回帯広市民バレエ「くるみ割り人形」公演」のために結集して、帯広市民オペラ公演同様、7者による実行委員会が主催して昨年「第5回帯広市民バレエ『眠れる森の美女』」公演を開催しました。



帯広市民劇場運営委員会とは・・・

帯広市は文化度が高いと言われています。文化協会がない地域だからこそ、しがらみのない、自由な発想により、行政・経済界が支援してくれる特殊な風土を生み出しました。

帯広市には、地元文化団体が加盟する文化協会がありません。昭和38年に旧帯広市民会館が道内2番目に大きな1,491席の大ホールを建設するにあたり、官民共同の運営組織として「帯広市民劇場運営委員会」を組織しました。運営委員には、演ずる側として文化団体関係者、鑑賞する側として行政、経済界、関係団体の人々が就任し、地元文化団体の育成はもとより、国内外の優れた舞台・展示公演を開催してきました。「帯広交響楽団」の設立、「第1回帯広市民オペラ公演」の開催は、帯広市民劇場運営委員会の発案で実現しました。